

Pablo Juárez

Profile



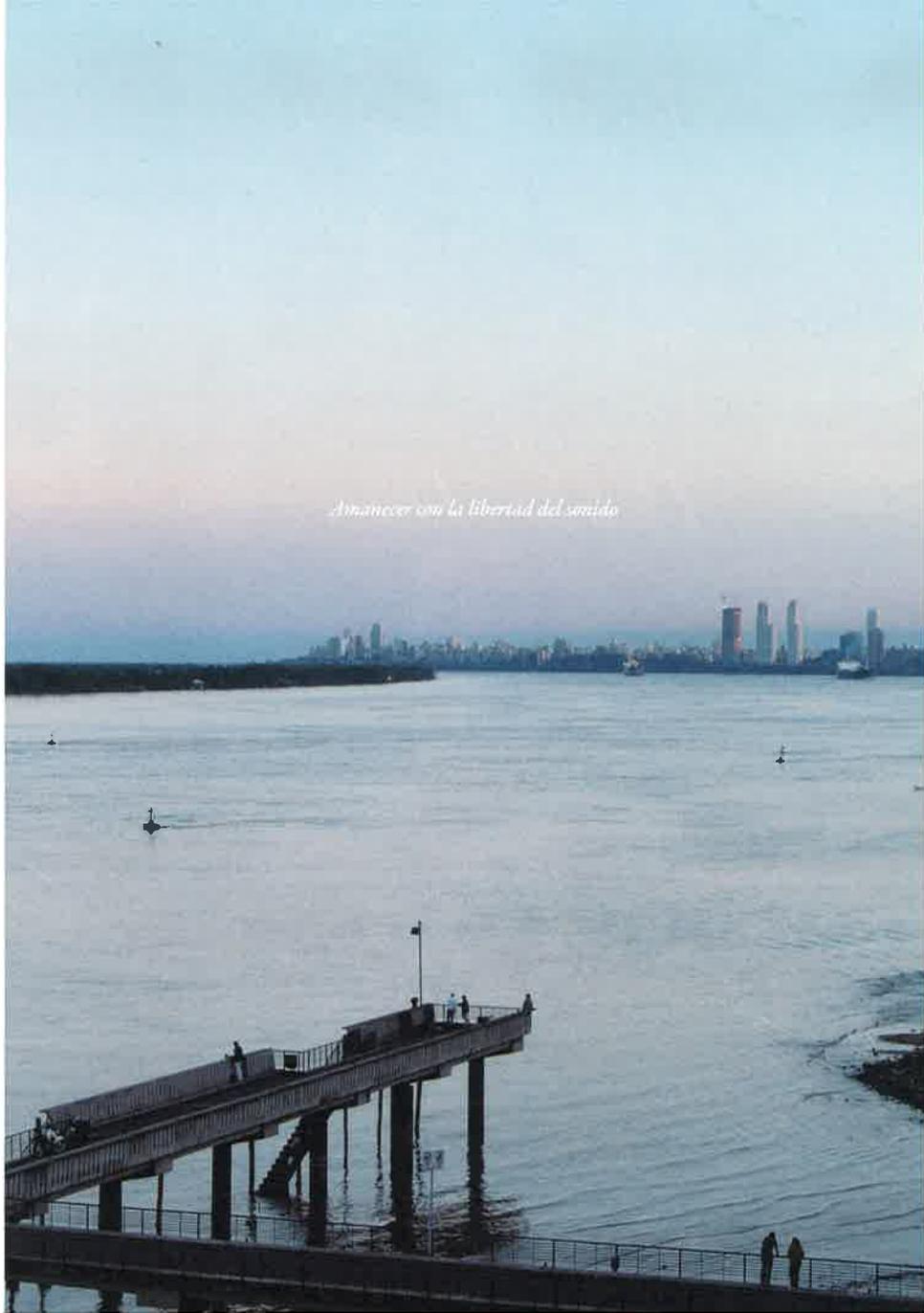
1980年アルゼンチン・ロサリオ生まれ。多方面の音楽グループで活躍していた父親の影響で、6歳の時バンドネオン奏者からfolkローレの手ほどきを受け、8歳から音楽教育を受け、青年期にはロスキン音楽祭に3年連続出演。

パラナ川の河岸で過ごした子供の頃から、彼にとって音楽と自然は関連したもので、その風景は詩であり

音楽であった。南米諸国の音楽や北米のジャズやポップスにも影響を受け、様々な音楽を通して、音楽とは伝統的なものからコンテンポラリーまで、絶えず探求する道だということとを学ぶ。

2007年よりブエノスアイレスを拠点にジャズ・フォルクローレシーンで活躍。Franco Luciani、Marcela Passadore、Miryam Quiñones、

Amanecer con la libertad del sonido



Georgia Hassan、Silvio Rodríguez、Jorge Fandermoleなどの共演や伴奏、25作品を超える録音参加、ドキュメンタリーTV『Uniendo Destinos』の音楽制作を手がける。自身の名義初作品は2011年『Sumergido』。このアルバムは新鋭ミュージシャンを紹介するサイトClub Del Discoに選ばれ、日本でも2枚のコンクニシエムアルバム『bar buenos aires』『Quiet Corner』に収録された。2015年シンガーJulian Venegasとのデュオ作『Dos Cauces』をリリース。現在ロサリオにて活動し、2017年Hugo Fattoruso、Carlos Aguirre、Andrés Beuwsaert、Alexander Panizza、Lilian Sabaらと共にピアノ・フュージョン・デュオ『Silk・Down・ソレイユ』での生演奏や、ウルグアイ各地での演奏セミナー開催など、多岐にわたり音楽交流を深めている。2018年ピアノで自然界の音の表現を試みた作品『Solo Piano - El Amanecer De Los Pajaros』を録音し初の日本盤としてリリース。2019年12月初来日公演を各地で開催。

www.pablojuarez.com

Discography



Sumergido
2012
Club Del Disco



Solo Piano
El Amanecer De Los Pajaros
2018
hummock label